

教育に関する事務事業点検評価結果一覧表

※教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条）

町教育委員会外部評価委員会において、「令和5年度実施に係る教育に関する事務事業の点検・評価」を実施しましたので、報告します。（5段階評価）

事業番号	事務・事業名	今後の事業の方向性	自己評価	外部評価	点検・評価に対するコメント等
			総合	総合	
1	学力向上対策会議	継続	3	3	この活動はとても重要なものである。各学校での通過率をもとに、その学校にあった解決方法を見出し、瀬戸内町内の児童生徒の学力向上に努めていただきたい。
2	適応指導教室設置	継続	4	4	長期欠席不登校児童生徒の社会的自立に向けての居場所づくりとして、適応指導教室の設置はわずかではあるが改善傾向にあり、今後も継続していただきたい。
3	ICT支援員配置事業	継続	4	4	小中学生全員にタブレットが配布されており、タブレットの有効活用のためにICT支援員の配置は必要不可欠である。
4	教育文化のまちづくり活動助成	継続	3	3	各校、郷土文化活動はしっかり記載していただき、それぞれの学校の特色を生かした活動を確立するためにも継続していただきたい。 各種発表会を觀ても成果が上がってきている。また、請り鑑賞会等、地域活性化のためにも継続していただきたい。
5	にほんの里・加計呂麻留学助成制度	継続	3	3	本町の学校教育の振興と充実を期するため、児童生徒が瀬戸内町立の小・中学校に留学し、自然豊かな南国の島で地域の人々との触れ合いを通して、子ども達の豊かな人間性を育成し、学校及び地域の活性化を図るために必要な事業であるが、長期的なビジョンを鑑み、事業内容等を一工夫する必要がある。
6	外国青年招致事業費	継続	4	4	ALT2名体制にしたことにより授業が充実しており、このまま2名体制を維持していただきたい。また、海外とのオンラインの拡充も図っていただきたい。
7	GIGAスクール推進	継続	4	4	急速に発展する社会の情報化に対応するため、児童生徒の情報活用能力を育むためにも必要な事業である。学校により利用頻度に差があるので研修等の機会を増やしICTの有効活用を行い、複数回の利用促進を図ってほしい。
8	外部講師による活動	継続	4	4	外部講師による英語・体操・空手・茶道・島唄等の活動を通して、園児が様々な体験活動を経験することで、それぞれの活動の楽しさを感じ、興味を持たせることで小学校での学校生活の円滑な学習の充実に繋げていくためにも必要な事業である。
9	食物アレルギー診断経費	継続	3	3	保護者の負担軽減を図るとともに、食物アレルギー対策の円滑な運営のためにも必要な事業である。今後とも継続していただきたい。
10	町子ども会活性化プロジェクト～田植え体験in勝浦～	継続	3	3	この事業を通し、現在、機械で簡単にできる作業も先人と同様、この手作業を体験することで、みんなで一つの事を成し遂げる大切さの場を提供する良い機会として、今後は、子ども会単位で参加をつのり、活動を継続していただきたい。
11	子どもサミット	継続	4	4	瀬戸内町の未来を拓き、豊かに生きる人間を育むために、子ども視点で考え、語り合い、発表することで、今後の地域の活動を導くことのできるリーダーを育成するために、今後とも充実を図り継続していただきたい。今後も、古仁屋高校を含めたサミットを検討していただきたい。
12	総合芸術教室	継続	4	4	演劇やミュージカル等の総合芸術を体験することは、自主性・主体性・コミュニケーション能力・社会性が期待されるので今後も継続していただきたい。
13	スポーツ能力発見大会	継続	4	4	「スポーツ能力発見大会」を開催し、全国と比較することによりスポーツに親しみきっかけづくりをしたい。全国比較しフィードバックすることが可能であるため継続して実施していただきたい。
14	文化芸術・伝統芸能活動支援 瀬戸内町文化協会活動費	継続	4	4	文化祭や子ども文化祭など文化活動に対する意欲と関心を高める活動や担い手育成・発掘のためにも継続していただきたい。